

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月28日更新

事務事業名		介護基盤緊急整備特別対策事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	内田 秀一郎
	施策	16	高齢者の自立と社会参加の促進			所属課	高齢者支援課	担当者名	鷹巣 孝之
	基本事業	50	高齢者支援体制の充実			所属班	高齢者保険班	(内線)	2121
予算科目		会計一般	款	項	目	事業連番	法令根拠	熊本県介護基盤緊急整備特別対策事業補助金交付要綱	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 熊本県介護基盤緊急整備特別対策事業補助金を活用した事業で、地域の介護ニーズに対応するため、地域密着型サービスの整備に係る既存交付金を拡充することによって、グループホーム等の介護拠点を緊急に整備することを目的とする。県が市を通じて事業主体(事業所)が行う、グループホーム、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型デイサービスセンター建設費用に対する補助金を交付する事業。 平成21年度に国の緊急経済対策により、県が基金を新設。第4期介護保険事業計画(21~23年度)で地域密着型サービスの整備をする計画。 高齢化社会が今後ますます進展すると思われるので、介護施設は必要になると思われる。
【業務の流れ】	22年度:事業主体①グループホーム1箇所(定員18人)②小規模多機能型居宅介護2箇所(1箇所当り定員25人)③認知症対応型デイサービスセンター1箇所(定員12人) 2事業主体による事業実施計画を県に申請し、補助金の申請・請求等の事務を行う。
【主な予算費目】	負担金、補助及び交付金(積算根拠=グループホーム:30,000千円 小規模多機能型居宅介護:60,000千円(2箇所分) 認知症対応型デイサービスセンター:10,000千円 合計100,000千円)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	事業主体からは、補助金が15,000千円(H21)から26,250千円(H22)に拡充されたので、歓迎されている。H22.3熊本県補助金交付要項改正により補助金単価が26,250千円から30,000千円に増額された。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:	
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO) H22年度①グループホーム1箇所(定員18人)②小規模多機能型居宅介護2箇所(1箇所当り定員25人)③認知症対応型デイサービスセンター1箇所(定員12人)の整備		24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ア:申請件数	件		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
H21年度に公募、審査後に合志市が指定した地域密着型サービス事業予定者	百万	→ア:補助金交付額	百万
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
建設費用の負担軽減を図り、介護施設事業者の経営安定化を図る。	件	→ア:補助により整備された施設数	件
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠 介護基盤の整備が進めば、待機者の解消が図られ、需要に応じた良質で安全なサービスを利用することができることから、補助により整備された施設数とした。			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア	件	0	6	0	0				
	イ									
	イ									
②対象指標	ア	百万	0	100	0	0				
	イ									
③成果指標	ア	件	0	4	0	0				
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円		121,600					
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円		417,076						
	(A)事業費計	千円	0	538,676	0	0				
(A)のうち指定経費	千円	0	417,076	0	0					
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0					
人件費	正規職員従事人数	人	2	5	0	1				
	延べ業務時間	時間	300	345	0	10				
(B)人件費計	千円	1,194	1,421	0	40					
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,194	540,097	0	40					

事務事業名	介護基盤緊急整備特別対策事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	----------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						